親父の会

9月2日（土）

　コロナ禍で見送られていた「親父の会」が、4年の歳月を経て再開されました。今回の主な作業は、正門と鉄棒支柱・ミニサッカーゴールのペンキの塗り直しです。

　当日は朝早くから多くの親父達と、大使館より根本領事が学校に来てくださり、教員達と協力して作業を行いました。

　まず初めに、紙やすりでそれぞれのサビやほころびを落とし、きれいにならす作業です。一時的にエレクトリックフェンスを停止させ、外側からも作業をするという安全面が確保できにくい状況でしたが、そこは屈強な親父達です。気にすることなく作業に没頭してくださいました。

　サビやほころびを落とした後はサビ止め塗りです。その後サビ止めが乾いた頃を見計らい、最後に青いペンキを塗って作業は終了です。

　約3時間にわたる作業でしたが、親父達はJSJの子ども達のために一生懸命頑張ってくださいました。本当にありがとうございました。

JAPAN

CALED